レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年7月14日		
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成　　年　　月
レジメン名	ベクティビックス＋イリノテカン				
疾患名	大腸がん	適応の備考			
適応分類	進行再発				
1コース日数	14　日間	総コース数	コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日	ベクティビックス6mg/Kg day1、イリノテカン150mg/㎡ day1				

治療スケジュール ・ 投与日程（投与日は●）　（day）

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●													
	点滴静注																	
			/															
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●													
	点滴静注	ベクティビックス	6 mg / Kg	60 分	●													
			/															
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●													
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body		●													
			/															
4	主ルート	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●													
	点滴静注	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	3 本 / body		●													
			/															
5	主ルート	5%ブドウ糖液500mL	1 本 / body	90 分	●													
	点滴静注	イリノテカン	150 mg / ㎡		●													
			/															
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●													
	点滴静注																	
			/															

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
ベクティビックス：投与時はインラインフィルター（0．2または0．22μm）を使用すること。投与前後には、ラインを生食でフラッシュする。
ベクティビックス：希釈は生食のみ
ベクティビックス：最終濃度として、10mg/mLを超えない。
ベクティビックス：投与には60分以上かけること。
ベクティビックス：希釈後6時間以内に使用する。
day1デキサート注は、3.3mgでも可